

熊本県広報誌

くまもと

県からのたより

2002
12月号
No.34

熊本県の人口(平成14年10月1日推計) 1,858,070人 男876,984人 女981,086人

発行/熊本県広報課

県民が主役の 熊本づくりを めざします。

県民の皆さんの自主的な活動・交流の場として、

くまもと県民交流館パレアを、

連日、多くの方が利用しています。

これからは熊本県では、

県民の皆さんが生き生きと暮らせる熊本づくりのため、

さまざまな施策に取り組みます。



熱心に話し合うボランティアの方々
「くまもと県民交流館 パレア」9階パレアルームにて

主な記事

- ② 特集1 / 今年の県政は、こんな一年でした
- ④ 特集2 / 豊かな「海の幸」をどうぞ!
- ⑤ 知りたい!県庁・くまもと女性特派員レポート
- ⑥ ⑦ 県からのお知らせ・くまもと物語
- ⑧ くに郷づくり通信・来て見てだより



パートナーシップ21くまもと

特集1

今年の県政はどんな年でしたか

今年も、もう十二月。皆さんの二〇〇二年はどんな一年でしたか。県では、「ユニバーサルデザイン振興指針」の策定や「市町村合併」の動きが進むなど、新しいくまもとづくりに取り組んだ一年でした。



1月

来年四月「あさぎり町」誕生が決定

中球磨五か町村で合併の議決が行われ、来年四月の「あさぎり町」誕生が決定。このほか県内各地で合併協議会が設置されるなど、市町村合併に向けた機運が高まっています。

2月

川辺川ダムを考える住民討論集会の開催



第4回川辺川ダムを考える住民討論集会

昨年十一月、ダム以外でも流域住民の生命・財産を守るとする代替案が発表されたのを受け、県民の皆さんに見える形で公正に論議する場として開催し、以後、回を重ねているところです。

「くまもとユニバーサルデザイン振興指針」の策定

「すべての人が暮らしやすい社会」の実現を目指すユニバーサルデザイン(=UD)。このUDの考え方をさまざまな分野に取り入れ、県民運動として展開していくため、そのよりどころとなる指針を作りました。また、身近なところでUDに触れていただくために、九月にはUDファクションフェアを開催、県内外から約二千人が来場しました。

「熊本県雇用創出対策」の策定

新たな雇用の場の創出、時代に適応した職業訓練・人材養成、県民を守るセーフティネットの充実を柱とした雇用創出対策を取りまとめました。厳しい雇用情勢が続く中、この対策に沿った取り組みを進めています。

公共施設への県産木材利用を促進

県が率先して県産木材の利用を進めるため、県が行う公共施設整備は原則木造とすることなどを盛り込んだ基本方針や利用計画を決定しました。

3月

ISO14001の認証取得

県庁組織警察本部を含む県庁組織、環境管理システムの国際規格の認証を取得しました。県の事務・事業全般において、環境への配慮を徹底して行っています。



知事への登録証授与

4月

歴史公園鞠智城・温故創生館が開館



温故創生館

県立装飾古墳館分館として菊鹿町にオープン。総合学習施設として、多くの利用者でにぎわっています。

熊本県男女共同参画推進条例施行

委員を一般公募した男女共同参画審議会を新たに設けるとともに、男女共同参画施策に関する苦情処理制度を開始するなど、条例に基づき取り組みを進めています。

くまもと県民交流館パレアオープン



「パレア」総合受付

熊本市手取本町の市街地再開発ビル「テトリアくまもと」が完成し、その九階、十階および一階の一部に「パレア」がオープンしました。NPO・ボランティア活動、男女共同参画社会づくり、生涯学習活動、就業支援など、県民の皆さんの自発的で主体的な活動を応援する拠点施設として、多くの皆さんに利用されています。

姉妹友好提携二十周年

県と姉妹友好提携を結んでいる中国広西壮族自治区、米国モンタナ州、韓国忠清南道の三地域すべてが提携二十周年を迎え、記念事業などを行いました。

5月

「松島有料道路」開通

熊本都市圏と県内主要都市を九十分で結ぶ九十分構想。この実現に向け整備を進めている「熊本天草幹線道路」の初めての開通区間となりました。



「松島有料道路」開通式

W杯サッカーベルギー代表チームの熊本キャンプ



コスタリカ代表チームとの親善試合

多くの県民の皆さんのご協力をいただき、ベルギー代表チームに最高の環境を提供することができました。また、熊本のPRや経済波及効果、スポーツの振興、国際交流の促進といった面でも大きな成果がありました。

7月

新たな子育て・介護支援施策を推進

子育てや介護にあたる方の負担軽減・ゆとり創出を目的とする「レスパイト・ケア」施策を推進しています。その一つとして、夏休みに障害児を預かるモデル事業を菊池市と松橋町で新たに開始しました。



モデル事業での家族と知事の意見交換

8月

くまもと食・農ネットワーク設立

くまもとと四季のさかな選定
地域で生産されたものを地域で消費する「地産地消」。この取り組みの一つとして、生産者と消費者が食と農を一緒に考え活動するネットワークを設立。また、熊本を代表する旬のおいしい十七種類の地魚が、「くまもと四季のさかな」として選ばれました。

住民基本台帳ネットワークスタート

全国の市町村と都道府県などを専用回線で結び、本人確認ができる仕組みで、パスポートの記載事項の訂正など、住民基本台帳法に定められた事務での利用が始まりました。

9月

公衆浴場、旅館などの入浴施設の衛生管理徹底

七月末に他県の入浴施設でレジオネラ菌による集団感染が発生。県では循環式浴槽を持つ公衆浴場、旅館、社会福祉施設などに対して立入調査を実施し、衛生管理の徹底を指導しました。

10月

熊本県人権センター開設

人権教育・啓発推進の拠点として、県庁新館二階に開設しました。センターでは、同和問題をはじめとする、さまざまな人権問題の解消に向けた取り組みを行っています。



小学生への人権に関する学習風景

インキュベーション(起業化支援)施設「夢挑戦プラザ21」オープン

旧運転免許センターの一部を使って、創業者や創業間もない企業に対し、事業スペースの提供や各種相談に応じるなど、関係機関と連携して支援を行っています。

九州新幹線鹿児島ルート¹の並行在来線「肥薩おれんじ鉄道株式会社」設立



整備が進む「新八代駅」

平成十六年春の九州新幹線開業と同時に、鹿児島本線八代川内間を運行する新会社が設立されました。新幹線工事も順調に進み、「新八代」西鹿児島間は平成十五年末の完成に向けて、高架橋などの土木工事はほぼ完了し、駅舎などの整備が進められています。

「技能五輪くまもと2002」開催

「アビリンピックくまもと2002」開催

二十一歳以下の若者と、障害者の方々がそれぞれ技能日本一を競うこの二つの大会が、同時期に同じ県で開催されたのは今回が初めてでした。本県選手は好成績を収め、また、ひたむきにもぐりの技術を競い合う選手



技能五輪開会式



熱心に競技に取り組む選手たち(アビリンピック)

の姿は、多くの人に感動を与えました。

「チャレンジ・テレワークプロジェクト」発足

テレワーク(=情報通信ネットワークを活用して在宅で仕事を行う)による障害者の方々の就労・社会参加を実験的に進めるプロジェクトが始まりました。

食の安全対策の推進

食の安心につながる総合的な安全対策を講じるため、庁内に知事を会長とする「食の安全対策会議」を設置するとともに、生産から消費に至るまでの幅広い意見を県政に反映させるために「食の安全対策懇話会」を十一月に設置しました。

11月

「くまもと菓子博2002」開催



グランメッセ熊本会場

四年に一度開催されている全国菓子大博覧会が、熊本では初めて、グランメッセ熊本と熊本城を会場に開催されました。お菓子約一万点が勢ぞろいし、期間中、県内外から五十五万人を超える来場者でにぎわいました。

12月

「武蔵」を通して熊本の魅力を全国へ!

来年一月から始まるNHK大河ドラマの主人公は「宮本武蔵」。武蔵が最後に選んだ地「熊本」では、十月以降武蔵関連のさまざまなイベントが開催されています。来年も、武蔵を通して熊本の魅力を県内外に発信していきます。

知事室から



熊本県知事 加藤 一博

師走を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。

厳しい経済・雇用情勢が続いた一年でしたが、一方で今年は、熊本の「おもてなしの心」が大いに発揮された年になりました。ワールドカップサッカーベルギーチームのキャンプ、技能五輪、アビリンピック、菓子博と、内外から多くのお客様をお迎えし、ボランティアの方々をはじめ関係者の皆様方にさまざまな場面でご協力をいただきました。

また、今年、子育て・介護支援のためのプロジェクトをスタートさせました。夏休みに障害児を預かる事業や養護学校に看護師を派遣する事業に加え、国に提案し要件緩和が認められた「つどいの広場事業」を、県内四カ所で開催するなど新たな取り組みが進んでいます。

こうした中、今年は食への信頼が大きく揺らぐ出来事が続きました。迅速で的確な対応を講じるとともに、「食の安全安心に関する基本方針(仮称)」を策定するなど、消費者の安心につながるような総合的な施策展開を図って参ります。

来年も皆様とのパートナーシップを大切にしながら一人ひとりの生命と健康が大事にされる県政の推進に努めて参ります。

特集2 豊かな「海の幸」をどうぞ!

熊本は有明海、不知火海、天草灘^{なだ}という豊かな海に囲まれ、おいしい地魚の産地です。この海の幸を県民の皆さんにもっと知ってもらい、食べていただくため、熊本県では四季折々の代表的な魚介類を「くまもと四季のさかな」として選定しPRするとともに、海の資源を将来にわたって守っていくため、漁業関係者の皆さんと協力して「つくり育て管理する漁業」を推進しています。

くまもと四季のさかな

地元で捕れる、新鮮でおいしい魚介類を県民の皆さんに実感していただくため、くまもと四季のさかな選定委員会(消費者、流通関係者、生産者などの代表者で構成)により、熊本の四季を代表する17種類の地魚が「くまもと四季のさかな」として選ばれました。

春 まだい、あさり、こういか、きびなご

夏 いさき(イッサキ)、たこ、あじ、はも

秋 たちうお、もちうお(イボダイ)、がざみ(ワタリガニ)、しいら(マンビキ)

冬 ぶり、ひらめ、このしろ、がらかぶ(カサゴ)

県魚 くるまえび(夏)



今後、この「四季のさかな」を通して、県民の皆さんに熊本の魚介類のおいしさを再認識していただきたいと考えています。皆さん、地元で捕れるおいしい「さかな」をたくさん食べてください!

つくり育て管理する漁業

稚魚を育てて放流したり、魚が大きくなるまで待つなど、魚を増やしていく取り組みを進めています。

「つくる」

稚魚をつくる。

マダイ、ヒラメ、クルマエビ、ワタリガニなどの卵を専門の施設で人工的にふ化させます。



「育てる」

稚魚を育て、放流する。

ふ化させた後、自然の海で生きていける大きさになるまで育成し、海に放流します。



「管理する」

小さな魚や卵を持つワタリガニを海に戻すなど、魚を捕り尽くさないようにしています。

小型魚の再放流

ある一定の大きさになるまで待つ魚を捕る。例えば、全長15cm以下のマダイや20cm以下のヒラメは、捕れても海へ返しています。一般の釣り人にも協力を呼びかけています。



漁具の工夫・改良

小さな魚が入らないよう、網の目が大きい漁具を使います。



休漁日の設定

県内漁業者は、毎月第2土曜日を「県下一斉休漁日」として海を休ませています。



熊本の豊かな海の資源を将来にわたって守り、おいしい地魚を子どもたちに引き継いでいくため、皆さんもこの取り組みを応援してください。

お問い合わせ先

熊本県水産振興課 ☎096-383-1111(内線5696) FAX096-382-8511
電子メール suisanshinkou@pref.kumamoto.jp

知りたい! 県庁

皆さんの質問にお答えします。

Q

くまもと県民交流館パレアの「しごと支援センター」では、どのような取り組みをしていますか。

A

しごと支援センターは、県民の皆さんの就業を支援する施設です。国のパートバンクと一緒に、次の取り組みを行っています。

就業相談窓口

能力開発や資格取得、育児や介護支援など、就業に役立つ情報の提供

仕事を始めるに当たって困ったことや働いてみて悩んだことなど、専門の相談員によるアドバイス

パートバンク

熊本市を中心としたパート求人情報の提供

パートで働きたい方の相談や仕事の紹介、パート求人への受け付け

技術講習会

より有利な条件で就業できるよう、就業に必要な知識や技術を身につけていただくため、県内各地で実施講習科目は経理、パソコン、ビジネス実務、訪問介護などで、受講料は無料(教材費や検定料は自己負担)



くまもと県民交流館パレア しごと支援センター
☎096-355-4309 FAX096-355-4317
就業相談窓口 ☎096-355-2224
パートバンク ☎096-322-8010
電子メール shigotoshien@pref.kumamoto.jp

お問い合わせ先

Q

「知事への提言広場」に寄せられた意見は、どのように回答されていますか。

A

「知事への提言広場」は、熊本県に対するご提言を直接電子メールでいただく、県民一人ひとりが県政に参加できる制度です。

ご提言は、県のホームページ「ようこそ知事室」のコーナーから直接送信することができます。いただいたご提言は、県政運営の参考にさせていただきます。

なお、「ご提言された方への個別の回答は行っていませんが、「提言紹介」のコーナーでできる限り紹介するとともに、それぞれの提言に知事からのメッセージを併せて掲載していますので、ぜひご覧ください。皆さんからのご提言をお待ちしています。



熊本県広報課 報道・広聴班
☎096-383-1111(内線3134) FAX096-386-2040
電子メール kouhou@pref.kumamoto.jp
ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/invited/menu.html>

お問い合わせ先

くまもと 女性特派員 レポート

誰もが安心して生活できる環境づくり
～高齢者向け優良賃貸住宅制度～

少子・高齢化が進む中、熊本県では、誰もが安心して生活できる環境づくりのため、ユニバーサルデザインに配慮した住宅の整備などを進めています。その一つが、「高齢者向け優良賃貸住宅制度」。これは、高齢者が安心して暮らすことができるように、段差の解消や車いすでも生活できる工夫が取り入れられた、いわゆるバリアフリー化された住宅です。自立した生活を送れる六十歳以上の単身または夫婦世帯などであれば、どなたでも入居の対象となります。また、収入に応じて家賃の補助があり、通常の賃貸住宅の家賃と比べて、平均で約七割の負担で済みます。



室内に取り付けられた手すり

今回、私は、熊本県にある賃貸住宅の一つを見せていただきまし。近くには、ショッピングセンター、金融機関、医療機関などがあり、公共交通機関の利便性も良く、生活する上での不便さを全く感じさせません。室内には、二十四時間対応の緊急通報システムが風呂場やトイレなどにも付けられていて、万が一の場合も安心です。

入居者の一人は、「一人暮らしになり家の管理などが大変で、こちらに申し込みました。今では、ずっとここに住み続けたいと思っています」とおっしゃっていました。

私も六十歳を過ぎ、高齢者の仲間入りをしました。今はまだ、わが家で生活する上で不便さを感じませんが、もっと年をとり、身体機能が低下した時、大丈夫だろうか？もし、段差につまずき、転倒したら・・・入居者の方が快適に暮らしている姿を見て、私も元気なうちから、将来の住まいのことを考えてみようと思いました。



風呂場に取り付けられた緊急通報システム

このような高齢者への配慮がすべての住まいづくりに取り入れられれば、誰もが安心して、住み慣れたこの熊本にずっと住み続けることができるのではないのでしょうか。



オーナー(写真左)と入居者の皆さんにお話を聞く後藤さん



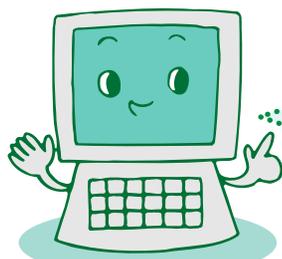
くまもと女性特派員 後藤 博子さん (熊本市)

高齢者向け優良賃貸住宅制度に関するお問い合わせ先
熊本県住宅課 ☎096-383-1111(内線6245) FAX096-384-5472

1 ユニバーサルデザイン「すべての人のためのデザイン」
2 熊本県内の高齢者向け優良賃貸住宅数 百二十九戸 (平成十四年十月末現在)

県からののお知らせ

住基ネットに保有する個人情報 は6つの情報に限定されています



氏名
住所
性別
生年月日
住民票コード
これらの変更情報

熊本県では、住民基本台帳ネットワークシステムを利用し、パスポート記載事項の訂正の際に、住民票の写しの添付が省略できるなどのサービスを開始しています。これから、さまざまなサービスが順次実施される予定ですが、サービスが増えてもこのシステムで県などが保有できる個人情報は、氏名、住所、性別、生年月日、住民票コード、これらの変更情報に法律で限定されています。

熊本県市町村総室 行政班
お問い合わせ ☎096-383-1111(内線3388)
合わせ先 FAX096-384-6561
電子メール shichouson@pref.kumamoto.jp

休日および夜間にも 納税・相談の窓口を開きます

熊本県では、仕事などが忙しく、日ごろなかなか県税の支払いや納税についての相談ができない方のため、休日および夜間も納税・相談窓口を開設します。



お気軽にお訪ねください。

開設場所

各地域振興局税務課、
熊本県税事務所、自動車税事務所

休日納税・相談窓口の開設

日時 / 12月8、15日(第2、第3日曜日)

8:30 ~ 17:00

夜間納税・相談窓口の開設

日時 / 12月3、10、17、24日(毎週火曜日)

12月5、12、19、26日(毎週木曜日)

17:00 ~ 20:00

熊本県税務課 収税指導班
お問い合わせ ☎096-382-7916
合わせ先 FAX096-387-4901
電子メール zeimu@pref.kumamoto.jp

DV(配偶者などからの暴力) で悩んでいる方へ

配偶者暴力相談支援センター(福祉総合相談所内)は、DVで悩んでいる方からの相談、カウンセリング、一時保護、各種情報の提供を行っています。



一人で悩まずお気軽にご相談ください。

DV:ドメスティック・バイオレンスの略

DV電話相談 ☎096-381-7110

受付時間 / 毎日9:00 ~ 24:00(年末年始を除く)

緊急の場合は上記の時間外でも対応しています。

また、電話が話し中の場合、平日の18時までは下記の電話でも結構です。

弁護士によるDV相談(無料、要予約)

詳しくは、下記へお尋ねください。

熊本県福祉総合相談所
お問い合わせ ☎096-381-4411(内線452・453)
合わせ先 FAX096-381-4412
電子メール fukushisoudan@pref.kumamoto.jp

県職員出前講座「パートナーシップ・セミナー」 随時開催中!!



熊本県が重点的に取り組んでいる施策などの98のテーマについて、県職員が、皆さんのお住まいの地域に直接出向いて、説明や意見交換を行う「パートナーシップ・セミナー」を実施しています。

お申し込み方法など詳しくは、県のホームページをご覧ください。

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/demae/index.html>

熊本県人事課 組織班
お問い合わせ ☎096-383-1111(内線3069・3075)
合わせ先 FAX096-382-5687
電子メール demae@pref.kumamoto.jp

090(携帯)金融から 借金しては絶対ダメ!



最近、携帯電話番号(090で始まる11ケタの番号)が書いてある融資のステッカーをよく見かけますが、その実体は俗にヤミ金融業者と言われている無登録業者です。このような業者から借金すると、違法な高利率により短期間でも多額な借金を抱え込むことになります。決して利用しないようにしましょう。

熊本県消費生活センター
お問い合わせ ☎096-354-4835
合わせ先 FAX096-354-7971
電子メール shouhiseikatsu@pref.kumamoto.jp

製造業の皆さんへ 「統計調査にご協力ください」



今年12月から来年1月にかけて調査員がお伺いしますので、調査票の記入にご協力をお願いします。個々の調査内容については秘密が厳守されます。

調査名 / 工業統計調査

調査基準日 / 平成14年12月31日(火)

熊本県統計調査課 商工班
お問い合わせ ☎096-383-1111(内線3610)
合わせ先 FAX096-384-7544
電子メール toukeichousa@pref.kumamoto.jp

熊本県子育て応援フォーラム 開催のご案内



社会全体で子どもたちを見守り育てる環境づくりについて、みんなで考えましょう。ぜひ、お越しください。

開催日 / 平成15年1月25日(土)

場所 / くまもと県民交流館パレア(熊本市)ほか

熊本県子育て・介護支援推進課
お問い合わせ ☎096-383-1111(内線7205)
合わせ先 FAX096-385-0627
電子メール kosodate@pref.kumamoto.jp

県議会を見学・傍聴しませんか



学校や自治会などの社会学習として、議事堂を見学してみませんか。

また、県議会の本会議は当日のお申し込みでも傍聴できます。新聞各紙でお知らせする開催日程をご確認のうえ、お気軽にお越しください。

なお、県議会会議録・質問項目などがインターネットで閲覧・検索できるようになりました。

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/assembly/contents/index.html>

熊本県議会事務局 政務調査課
お問い合わせ ☎096-381-9411 ~ 9413
合わせ先 FAX096-384-8896
電子メール gikaisoumu@pref.kumamoto.jp

12月は大気汚染防止 推進月間です!!

冬は、自動車交通量の増加、ビルや家庭の暖房の影響などにより、大気汚染物質の濃度が高くなります。

このため、熊本県では、マイカー使用の自粛と、家庭や職場での暖房設定温度を19度以下にしてくださいと呼びかけています。また、マイカー通勤の方には、バスと電車(JR除く)の運賃が半額となる「ノーマイカーデー半額券」を発行しています。

「ノーマイカーデー半額券」使用日
12月4、11、18日(第1~3水曜日)



熊本県環境保全課 大気・化学物質班
お問い合わせ ☎096-383-1111(内線7339)
合わせ先 FAX096-387-7612
電子メール kankyouhozen@pref.kumamoto.jp

イベント紹介参加者募集

熊本県子ども人権作品展のご案内



県内の小・中学生、高校生が「人権」をテーマに作成した標語・ポスターおよび詩を展示します。
 日時 / 平成15年1月5日(日)~7日(火)
 10:00~18:00
 場所 / 熊本岩田屋8階(熊本市)

熊本県人権同和教育課 指導係
 お問い合わせ ☎096-383-1111(内線6772)
 先 FAX096-387-1455
 電子メール douwakyouiku@pref.kumamoto.jp

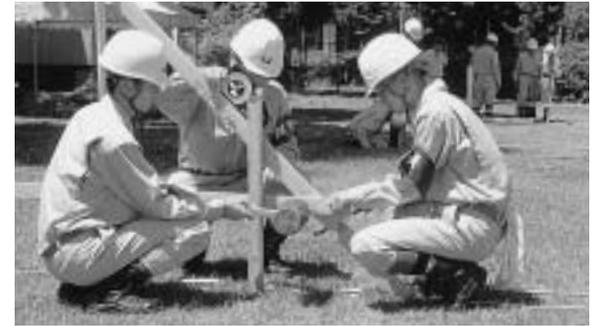
熊本県立農業大学校学生募集



下記のとおり平成15年度の学生を募集します。
 募集定員 / 農学科(25人) 園芸学科(45人) 畜産学科(30人)
 応募資格 / 昭和53年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた方 ほか
 受付期間 / 平成15年1月14日(火)~2月7日(金) (土日を除く。)
 試験日 / 平成15年2月14日(金)

熊本県立農業大学校農学部 教務課
 お問い合わせ ☎096-248-1188
 先 FAX096-248-4432
 電子メール nougyoudaigaku@pref.kumamoto.jp

産業開発青年隊 隊員募集



講座や現場実習を通して、土木建設技術者として必要な基礎知識や実践力を修得できます。
 募集人員 / 15人程度
 応募資格 / 18歳以上25歳未満の独身者。高校卒業程度の学力を有する者 ほか。
 募集期間 / 平成15年1月20日(月)~2月7日(金)
 試験期日 / 平成15年2月14日(金)

熊本県産業開発青年隊訓練所
 お問い合わせ ☎0964-28-6611
 先 FAX0964-28-7625
 電子メール sanhatsutai@pref.kumamoto.jp

くまもと物語 26 熊本のむかし話 その十
 金馬 一本渡市

ずつと昔、天草は下島の佐伊津村(今の本渡市佐伊津)の話です。村を流れる隅田川の川口は白州になっていて、夕方になるといつも、農家の人たちが田畑の仕事で汚れた馬を洗いながら、楽しいひとときを過ごしていました。ある日、寺尾の吾市はおとうさんと連れだって、青という馬を洗っていました。早く来たせいかほかに人かげはなく、あらなわでどろを落とすと、青も気持よさそうに目を細めていました。そのときです。青がとつぜん高くないな、深みのほうへ引きずりこまれていきます。親子は引きとめようとしましたが、力がおよびず、「ヒーン」という悲しいなきを最後に、青は波間に消えてしまいました。あつという間のできごと、吾市は青がかわいそうでないません。その後も人かげの少ないときにかぎって、何頭かの馬が海の中に引きずりこまれ、村は悲しい空気に包まれました。

このできごとの原因をしらべるため、吾市はみさぎの老い松にのぼり、何日も海をみはっていました。すると海の中からうねうねとした大だこが上がってきて、ちようど馬を洗っていた村人のところへ近寄り、馬に足をからみつけて引きずりこんだのです。「おのれ、大だこめ！」吾市はそのことを村人たちに話し、本物そっくりの馬を鉄で作って、大だこを退治しようと考えました。

吾市は、村人たちと鉄でできた金馬をつくり、空洞の腹の中にたきぎを入れて火をつけました。金馬は、耳、鼻、口から煙が立ちのぼり、まっかに焼けていました。白州におかれた金馬に、ときどき木炭をつぎたしながら待っている、しばらくして大だこがし

のびよってきました。長い足を馬にからませましたが動かないため、ざわざわっと大きな頭を海面にあらわして全身で馬を巻きこんでしまいました。しかし、まっかに焼けた金馬だったので、さすがの大だこも黒こげになって死んでしまいました。

吾市は青のかたきをうち、村の人たちもまた安心して馬洗いができるようになりました。この地は、いつからか「金馬」というようになり、「金浜」といわれたのち、今では「金匠」と呼ばれています。

出典「熊本の伝説」熊本県小学校教育研究会国語部会編



県広報のご案内

広報誌
 「県からのたより」 偶数月発行
 「コラためんなる」 奇数月発行
 第18号 お口の中は健康ですか?
 【配置場所】
 県庁、県地域振興局、市町村役場、主な郵便局、金融機関、一部の書店、一部のコンビニエンスストアなど

「点字版・録音版広報誌」
 「県からのたより」「コラためんなる」の点字版、録音版。詳しくは、次まで。
 熊本県点字図書館 ☎096-383-6333

テレビ
 RKK「週刊くまもと ケンケンぱ!」
 毎週日曜日 10時15分~30分(字幕入り)
 KKT「元気!くまもと」
 毎週土曜日 17時55分~18時(手話入り)

ラジオ
 RKK「ふれあいくまもと」
 毎週火、木、土曜日 10時25分~30分
 FMK「県庁ダイアリー」
 毎週月、水、金曜日 8時40分~45分

メールマガジン
 「気になる!くまもと」
 毎週金曜日 無料配信中
 熊本の魅力や最新情報などをいち早く「電子メール」と「専用サイト」でお届けしています。
 お申し込みは、次のアドレスにどうぞ。
<http://www.kininaru-k.jp>

県庁舎見学のご案内
 随時受け付けています。事前に予約が必要です。
 お問い合わせは、熊本県広報課まで。
 ☎096-383-1111(内線3134)

県広聴制度のご案内

知事への直行便
 県政へのご意見・ご提案などを専用封筒と便せんなどで受け付けています。専用封筒と便せんは、市町村役場をはじめ公共施設などに置いています。

知事への提言広場
 電子メールによる県政へのご提言などを受け付けています。県のホームページの「ようこそ知事室」から送信できます。

県行政相談
 県行政に関するご相談をお受けしています。
 月~金曜日、9時~12時、13時~16時
 ☎096-382-3504

県政パブリック・コメント手続き
 県民生活に係る深い計画などを策定する際に、案の段階で、期間を設けてご意見を募集しています。詳しくは県のホームページをご覧ください。

宇城地域

ほ場整備の完成で
活気づくハウス栽培



近代化された施設でのイチゴの収穫

宇土郡三角町 郡浦で昭和62年から行われていた「県営ほ場整備事業」(86ヘクタール)は、今年9月にほぼ完成しました。この地区はイチゴなどのハウス栽培が盛んで、工事期間中の栽培の継続が課題でした。そこで、農家の方々が協力し合って仮設ハウスを用意し、ハウス農家に貸し出すという県内では初めての方法によって整備が進められました。

その結果、この地区は生産性の高い農地に生まれ変わり、近代化されたハウス施設では、イチゴやミニトマトに加え、新たにデコボンの栽培も可能になりました。

三角町では、このような施設と温暖な気候のもとでさまざまなフルーツが作られています。これからの季節は、三角町とばせの「フラワーアイランド」の洋蘭も美しい時期です。皆さん、ぜひ三角町へ遊びに来て、おいしいフルーツをご賞味ください。

集団化されたハウス施設

ほ場整備：点在した田畑の区画を整備して、生産性や利便性を向上させること。

お問い合わせ先 / 熊本県宇城地域振興局 農地整備課
☎0964-32-2111(内線364) FAX0964-32-2289

くに
郷づくり通信

玉名地域

小代焼 国の伝統的
工芸品指定へ向けて準備中



小代焼の作品(花器、茶器、食器など)

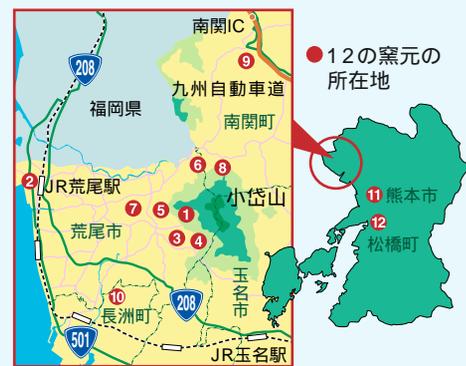
小代焼は、小岱山周辺で17世紀からつくられてきた、約400年の歴史を有する熊本の伝統的な工芸品です。鉄分が多く耐火度のある土に、わら灰を中心とした釉薬をかけてつくられるもので、茶器、花器から食器、装飾品までさまざまな製品があります。

小代焼の12の窯元は、今年4月に「小代焼窯元の会」を発足させ、現在、天草陶磁器、肥後象眼とともに、県内で初めてとなる国の伝統的工芸品の指定を受ける手続きを進めています。

熊本にも素晴らしい伝統工芸があることを知っていただき、その代表である小代焼を多くの皆さんに使用してもらえればと思います。



小代焼の製造
(古くから継承されてきた技術・技法)



お問い合わせ先
熊本県玉名地域振興局 振興調整室
☎0968-74-2111(内線405)
FAX0968-71-2612

来て見てだより

県施設の催しご案内

県立美術館本館(熊本市) ☎096-352-2111
<http://www.pref.kumamoto.jp/institution/museum>

12月23日(月)まで 常設展 今西コレクション



平田郷陽(ごうよう)作「村童」

今西コレクションの肉筆浮世絵や人形などの工芸品と熊日総合美術展受賞作を展示します。

休館：月曜日
(祝祭日の場合は翌日)

有料：一般260円(前売190円)、
大学生160円(120円)、
高校生以下無料。

県立図書館(熊本市) ☎096-384-5000
<http://www.library.pref.kumamoto.jp>

平成15年1月10日(金)~30日(木) たのしい絵本展
「ぐりとぐら」の中川李枝子(りえこ)さんの絵本をはじめ、子どもに贈る楽しい絵本を展示します。入場無料。
休館：月曜日(祝祭日の場合は翌日)

伝統工芸館(熊本市) ☎096-324-4930
<http://cyber.pref.kumamoto.jp/kougei>

平成15年1月21日(火)~26日(日) 暖の工芸展
伝統工芸館友の会がおすすめする工芸品を紹介・販売します。暖かさを感じるものがそろいます。
入場無料。

農業公園(カントリーパーク) 菊池郡合志町)
<http://www.country-park.jp> ☎096-248-7311

平成15年1月11日(土)~12日(日)

新春たこあげ大会
大たこあげ挑戦や、たこ作り教室などを開催。
入園料：大人100円、
高校生以下無料。



県立劇場(熊本市) ☎096-363-2233
<http://www.kengeki.or.jp>



清和文楽

平成15年1月11日(土)
14:00開演

ひのくにの伝承

開館20周年を記念して、これまで自主文化事業で取り上げた公演の中から神楽、文楽、虎舞、太鼓など9団体が出演。

有料：一般2,000円
中学生・大学生1,000円
4歳~小学生 500円

くまもと県民交流館パレア(熊本市) ☎096-355-1187
<http://www.parea.pref.kumamoto.jp>

平成15年1月11日(土)・2月1日(土)・ほか1日 13:00~
ハーモニーライフセミナー

男女でともに築く家庭生活を考えるためのセミナーです。講座は、子育てカップル いきいき夫婦 仕事と介護 の3講座を各3回開催します。
定員：各30人(カップルでの参加を歓迎します)。
申込：12月25日(水)まで。無料。

アスペクタ(阿蘇郡久木野村) ☎09676-7-1161
<http://www.8.ocn.ne.jp/~aspecta>

12月31日(火) カウントダウン2003INアスペクタ
ステージでのショーを楽しんだ後は、新年に向かってカウントダウン。年明けとともに華麗な花火が打ち上がります。有料：大人300円、小人150円。

装飾古墳館(鹿本郡鹿央町) ☎0968-36-2151
<http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/kofunkan>

古代体験教室 開催日の2カ月前から電話受付
平成15年2月22日(土) 縄文の布づくり 有料：300円。
平成15年3月8日(土) 古代の食体験 有料：500円。

環境センター(水俣市) ☎0966-62-2000
<http://www.kumamoto-eco.jp>

12月23日(月)10:00~15:30 環境アニメ祭り
広く環境問題を考えたり、環境に優しい行動を考える機会となる作品を上映。無料。

天草青年の家(天草郡松島町) ☎0969-56-1650
<http://www.parea.pref.kumamoto.jp/manabi/amakusa/index.htm>



天草青年の家

平成15年2月8日(土)~9日(日)

ナイトウォーク・イン天草

美しい夕日を眺めるクルージングと満天の星空を楽しむナイトウォークに参加しませんか。
対象：小学校4年生以上。定員：70人。
申込：1月19日(日)~電話申込順。有料：2,000円程度。

菊池少年自然の家(菊池市) ☎0968-27-0066
<http://www.parea.pref.kumamoto.jp/manabi/kikuchi/index.htm>

平成15年1月25日(土)~26日(日) スキーに挑戦
雪山のグレンデで、たくさんの友達とふれあいながら、スキーにチャレンジしてみませんか。
対象：小学校4年生~中学生。定員：100人。
申込：12月18日(水)~1月17日(金)電話申込順。
有料：3,500円程度 スキー用具レンタル代は別途自己負担。

豊野少年自然の家(下益城郡豊野町) ☎0964-45-3855
<http://www.parea.pref.kumamoto.jp/manabi/toyono/index.htm>

平成15年1月25日(土)~26日(日)

世界の友達と遊ぼう

県内のALT(外国語指導助手)の皆さんとの楽しい交流会を開きます。
有料：2,500円。
対象：小学校4年生~中学生。
定員：120人。
申込：1月7日(火)~18日(土)電話申込順。

あしきた青少年の家(葦北郡芦北町) ☎0966-82-3092
<http://www.parea.pref.kumamoto.jp/manabi/ashikitay>

平成15年1月25日(土)~26日(日)

冬大好き! 仲良し家族

親子で作る鍋料理やハイキングなどで、家族のきずなを深めましょう。楽しい企画がいっぱい。対象：家族。定員：20家族(100人程度)。有料：1人3,000円程度。
申込：1月11日(土)~20日(月)電話申込順。

このほかにも、いろいろな催しを行っています。詳しくは各施設まで直接お尋ねください。

「県からのたより」へのご意見をお待ちしています。

〒862-8570 熊本市水前寺6丁目18番1号 熊本県広報課「県からのたより」係
☎096-385-2096 FAX096-386-2040 電子メール kouhou@pref.kumamoto.jp

熊本県ホームページ
<http://www.pref.kumamoto.jp>



14 総調広
002-4